

地域社会の歴史と文化

(Regional History and Culture)

担当教員名: 准教授 鈴木 栄樹

【概要】

私たちが生まれ、育ってきたそれぞれの地域は、歴史的に形作られてきた個性、すなわち文化を持っている。しかし、近年の大きな社会的変化にともなって、そうした地域の歴史的な個性＝文化は急速に失われはじめているように思われる。講義では、身のまわりにある石碑や記念碑、伝統的な建築物、あるいは近年「近代化遺産」と呼ばれている幕末・明治以降の近代化過程につくられてきた諸施設を通じて、かついくつかの地域を具体例として取りあげながら、私たちが生活する地域社会の歴史と文化についての認識を深めてゆきたい。

【授業の一般目標】

地域社会のなかの石碑や記念碑、伝統的な建築物、あるいは近代化遺産などに注目し、それを通じて地域社会の歴史と文化についての認識を深め、さらに現在、あるいは将来にむけての私たちと地域社会との関わりについても自覚的に考えていく。

【成績評価方法・基準】それぞれに課題を設定したうえでレポートを提出してもらう。また、最終レポートに至るまでに2回ほどの中間レポートの提出を要求される。レポートの評価は、その独自性・独創性および調査の程度等によって評価される。また、講義の終わりに、講義の内容についての理解をペーパーで問うこともある。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

ビデオや映画などの視聴覚教材も利用する予定。なお、下記のウェブ・サイト上で授業に関する参考情報を公開している(随時更新)。

<http://www.kyoto-phu.ac.jp/labo/kyouyou/eijuszk/index.html>